

校長室から応援メッセージ(その7)

令和5年12月7日(木)

あの時の私は輝いていた・・・

皆さん、こんにちは。9月に始まった後期授業が本日で終わります。記録的な暑さのなか、汗を拭き拭き過ごしていた日々が懐かしい思い出になりつつありますが、寒さに震えつつ山梨予備校に通う現在の生活も皆さんの記憶に確実に刻まれると思います。

前回のメッセージの中で私は、「受験には成功も失敗もありません。頑張った分だけ成長した自分がある、それだけです。」と申し上げました。その後、ある人から「そうはいつでも第一志望校に合格できればそれは成功なのでしょう?」と問いかけられました。

もちろん第一志望校に合格する、そのことを目指して勉強してきたのですから、それはとても喜ばしいことです。しかしその大学で過ごすのは、まだこれからのことです。実際、自分にとって充実した時間が過ごせる場所なのかどうかはまったくの未知数です。

その意味からすると、第二、第三志望の大学に入学することになっても、そこが自分にとって二番手、三番手の大学ではなく、まさに一番手の大学になるのかもしれませんが、一番手の大学、それは、受験までの一日一日と、入学後の大学生活が決めるのです。

受験まで最も大切なことは、自分の受験が成功するのか失敗するのかを心配することではなく、ひたすら無心で机に向かうことです。このひたむきな気持ちが受験を成功に導く、いや、成功か失敗かを越えた、高い次元の世界に連れて行ってくれるのです。

皆さん、あとひと踏ん張りです。「よく頑張った、あんなに勉強したことはなかった」「たいへんだったけど、あの時の私は輝いていた、今の私も頑張らなくては・・・」。将来の皆さんがそういう思いで予備校時代を振り返る、その姿が私にはありありと見えます。